

## へD分散云々

### 《自己紹介》

《意見発表（要旨のみ）》日和佐中H・「僕の思うこと」

僕は今部落問題について考えている。部落問題は一人で背負うものじゃない。みんなでつながってなくしていくものだ。僕は以前、同和問題学習のときに手があげられなかったが、それはこの問題を人任せにしていたからかも知れない。意見が間違っているとかということでもなく、もっとみんなで意見をおつけ合うことが大事だと思う。それによって本当につながることができるのだ。

### 《意見交換》

司会者 部落に生まれたことを、いつ、どこで、誰から知らされ、その時どのように思いましたか。

司会者 私は中一の三学期に母から聞かされました。びっくりしてこれから先どうしようかと思いました。みなさんはそんな体験はありませんか。

豊中中T 特に何も思いませんでした。

司会者 H君の意見発表を聞いての感想でもいいので発表して下さい。

日和佐中H みんな黙っていると不安になってきます。意見を返してください。

助言者 発表者や司会者を仲間として助けようと思わないか。恥ずかしいことは何もない。発表して欲しい。

豊中中M H君の発表を聞いて、H君を支えてくれる仲間意識の強い良いクラスだと思いました。そんなクラスにしたいと思いました。

助言者 自分の立場を話し合うということは、重くて辛いかもしれないが、誰かが言ってくれたら、気持ちが変わると思う。だと思える子が出てきて、どんどん意見が出てくると思う。私の教え子で、立場を知ったときにショックを受けた子がいた。私の顔を見るなり家を飛び出していった。このときほど、自分が情け無かったことはことはない。これは私の気持ちだが、気持ちを打ち明け合うことで勇気が出てくると思う。

加茂名中K 小五のときに知りました。意味がわかってきたから悔しくなってきました。

豊中中B 小二の頃母から聞きました。その時はわからない

かったけど、中学生になって学習していくうちにすこく腹が立ちました。

司会者 その後の自分にどんな変化がありましたか。それも合わせて発表してください。私は、同和問題学習に、よりまじめに取り組めるようになりました。

加茂名中M 生活に変化はなかったかもしれないけれど、学習会について友達から聞かされて、人事とは考えなくなりました。真剣に考えるようになりました。

加茂名中H 初めはわからなかったから何も変わらなかったけど、だんだんわかってきて、進んで取り組むようになりしました。

加茂名中F わたしはお母さんに「何で学習会に行くの」と聞いて、「部落民やけん」と言われて、そのときは何も思わなかったけれど、今は真剣に行かなければと思っ  
ています。

加茂名中O 初めは、同和問題学習はただやっていけばいいと思っていたけど、知ってからは大切だと思いうようになり  
ました。

加茂名中K 学習会を休まずにいくようになりました。

加茂名中S 小学校のとき言われました。中学校で勉強す

るうちにわかってきて、真面目にやりだしました。

山川中 初めは何も思わなかったけど、わかってきて真面目にするようになりました。

鴨島一中 後からもっと勉強しなければと思うようになり  
ました。

日和佐中 同和問題学習や早く終わらんかと思っていたけど、真面目に取り組むようになりました。

上板中 むちゃくちゃシヨックでした。自分も差別する心をもっていると思つて頑張りました。

板野中 小学校のときはどうも思わなかったけど、中学生になってから、部落だけ特別にこんなことをするのは好きでは  
ありません。

豊中中 学習会に行くようになりました。

板野中 小学校のときより学習会に行く回数が増えました。司会者 テーマを変えて話し合いを進めていきたいと思  
います。学習会や地域での活動について話し合いをしてく  
ださい。

加茂名中 学習会で地域のことを調べて、秋の地域文化祭  
で発表しました。

日和佐中 大阪の人権博物館に行つて研修をしました。

加茂名中 バザーのお金を使って行事をしています。

加茂名中 月に一回学習会の参観日があります。

加茂名中 年に一回地域の大掃除をしています。

豊中 月に一、二回プリントやビデオで勉強しています。

まだ活動が少ないので、他の地域の活動も取り入れていきたいです。

司会者 助言者の方に一言お願いしたいと思います。

助言者MT 昔の人が差別と闘って積み上げてきたものとわかって欲しい。私の時代には学習会もなく、学校内でも差別がきつかった。その頃に学習会があれば、けんかしたり差別されることもなかったらう。

昔の部落の生活は厳しかった。風呂はもらい風呂、銭湯だったし、部屋も一つしかなく勉強部屋はなかった。なぜこんな生活を強いられているのか。部落差別と照らし合わせて生きてきた。私たちの先輩が勝ち取ってきた生活が今の生活だ。みんなは親の生活を知っているか。どんな生活をしてきたのか聞いてみて欲しい。七十、八十のおばあちゃんが識字に通っている。どんな気持ちでやっているか聞いているか。昔の生活の差別の厳しさによって奪われたものを取り返している。

私は高校を出ておらず、社会に出てから差別を知らされた。解放運動によって知らされたのだ。就職差別に実は遭ってきたのだということを知ったのも解放運動のおかげだ。たくさんの仲間がいることも勉強させてもらった。あつ、あれはこういうことだったんだということ仲間の話から気付かされた。

今の制度は、その解放運動による団結で出来たものだ。団結することの大切さがよくわかる。少しでもいいからみんなに受け継いでいただいて頑張って欲しいと思う。

助言者MM 今、素晴らしい話を聞かせていただいた。部落を取り巻く環境は大きく変わってきたが、昔、私はこんな経験をした。

教え子の家を家庭訪問したとき、遅くなってちようど食事のときになってしまったことがある。家族五人で食事をしていて、玉子のお汁をしていた。親は、子どもには玉子の身を入れて、自分たちはカラをお汁に入れていて。自分たちはいいからと子供に食べさせて、さらに子供たちに心配をかけさせまいという親心だ。

こんな親と話しをしていくうちに、自分の中にあつた部落に対する気持ちが間違っていたことをわかりながら

同和教育をしてきた。真実を知って、それを伝えていく  
事が大事だ。

司会者 時間がきたので、これで終わりたいと思いま  
す。